

平成27年度 大洲から「体験の風をおこそう」運動推進事業

親子で体験活動にチャレンジ！ 報告書

1 ねらい

親子が様々な体験活動を通して、自然の素晴らしさや体験活動の楽しさを実感するとともに、参加した保護者に子どもたちにとって体験活動がいかに重要なのかを理解してもらい、大洲から「体験の風をおこそう」運動を推進する機運を高める。

2 実施日

第1回：10月 3日（土）～10月 4日（日）

第2回：10月24日（土）～10月25日（日）

第3回：10月31日（土）～11月 1日（日）

3 日 程

【1日目】

	10:00	10:30		12:00	13:30		17:00	19:00	20:30	21:00	22:30
受付 開行	大人	講義 「子どもの体験活 動の意義」	昼食	親子でカヌー	夕べの つどい	休憩・ 夕食	星空 観察	打合 せ	入浴	就寝	
	子ども	なかま づくり ゲーム	休憩								

【2日目】

	6:30	7:00	9:00	11:00	14:00
起床	朝のつどい 朝食 準備 退所点検	親子で クライミング	野外炊飯 (うどんづくり)	閉会行事 解散	

4 活動場所

国立大洲青少年交流の家

5 参加対象・募集人数

小学3年生から6年生までの親子 先着各回 50名 程度

6 申込人数・参加者数

実施日	申込人数	参加者数
10月 3日（土） ～4日（日）	20家族 52名	19家族48名（大人22名・子ども26名） （未就学1名、3年生10名、4年生6名、5年生6名、6年生3名）
10月24日（土） ～25日（日）	22家族 49名	19家族46名（大人21名・子ども25名） （3年生7名、4年生9名、5年生6名、6年生3名）
10月31日（土） ～11月1日（日）	23家族 57名	21家族53名（大人26名・子ども27名） （未就学2名、3年生7名、4年生9名、5年生5名、6年生4名）
累計	65家族158名	59家族147名（大人69名・子ども78名） （未就学3名、3年生24名、4年生24名、5年生17名、6年生10名）

7 活動内容

開会行事では国立大洲青少年交流の家所長よりあいさつがあり、その中で、大洲から「体験の風をおこそう」運動の趣旨や概要について説明があった。開会行事後、保護者は愛媛県教育委員会生涯学習課社会教育グループ社会教育主事の西坂淳氏（第1・2回）・中尾治司氏（第3回）による「子どもの体験活動の意義」の講義を受けた。その間子どもたちは、「なかまづくりゲーム」に取り組み、楽しい雰囲気の中でお互いの緊張感を和らげる活動を行った。昼食後は、肱川のカヌー研修場へ移動し、カヌー体験を行った。大洲市カヌー協会の講師4名により、パドル操作等の実技指導が行われた。参加者たちは、親子でのカヌー体験を十分に楽しんだ。夕食後には、大洲市教育委員会教育総務課学校教育指導監の松井康之氏を講師に招き、「星空観察」を行った。寒空の中ではあったが、見事な流れ星を見ることができるなど、参加者の心に残るものとなった。

2日目は、宇和島山岳会から講師3名により、クライミング体験を行った。親子共々何度もクライミングに挑戦し、達成感を共有する姿が見られた。最終プログラムとなった野外炊飯では、矢野吉信氏を講師に招き、「うどんづくり」を行った。親子でなかよく声を掛け合いながら、協力してうどんを作ることができた。参加者からは、「是非、来年度も参加したい。」「2日間で様々な体験に取り組むことで、親子でじっくり触れ合うことができた。」「カヌーやクライミング等、はじめての体験ができて楽しかった。」「星空観察では、きれいな星空が見え、天体望遠鏡で月や星を見ることができて感動した。」等の声が聞かれた。本事業は、募集開始から1時間で定員を超えるほど人気が高く、多くの方の関心の高さが伺えた。閉会行事では、この事業以外の「大洲から『体験の風をおこそう』運動推進事業」の紹介や、体験活動の普及・啓発を図るためのチラシやグッズなどを配布した。

